

議題	第2回運営推進会議
日時	2025年5月21日(水) 10:30~11:15
場所	デイサービス井福来
出席者	(順不同敬称略) 錦田地区地域包括支援センター U様、K様(実習生) 利用者様ご家族 K様(ご主人)、N様(ご主人)、S1様(妻)、S2様(妻) デイサービス井福来 センター長 W1、統括 W2、 管理者 M (議事録作成者) 渡部浩考 (議事進行者)松本順子
会議の詳細	
<p>● ごあいさつ (統括 W2) ~出席者のご紹介、本会議の趣旨(目的)について~</p> <p>● デイサービス井福来のご紹介 (センター長 W1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デイサービス井福来の移転から1年が経過 ・ 現況/ご利用状況等 ・ 個々の利用者様の個性を大事にしながら運営 ・ 新しい認知症観の説明(情報発信) <p>● デイサービス井福来の活動(管理者 M)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節の行事や活動をしっかりと取り組んでいます ・ 敷地内の庭に出るの活動も始めています ・ 47都道府県のおやつ企画で毎月、話題提供を行っています ・ 体操指導の先生から各種アドバイスももらっています <p>※写真を投影(プロジェクター)しながらの活動報告</p> <p>【意見交換：家族介護者の語りと支援の工夫】</p> <p>在宅で家族介護をされている方々が、日常の困りごと、気づき、工夫、そして感情の揺れを率直に語り合ってくださいました。それぞれのご家庭で介護の形は異なりますが、共通して見られるのは、「本人の尊厳を守りながら、なんとか生活の質を維持したい」という強い思いです。</p> <p>◆ 認知機能の低下とそれに伴う不安・混乱</p> <p>時間の感覚があいまいになり、夜中に起こされたり、「今日は何をする日か」と何度も確認されることがある。</p>	

トイレの後始末や冷蔵庫の閉め忘れ、財布の紛失など、判断力の低下が見られ、それが家族の大きな負担になっている。

デイサービスなどに行ったことを本人がすぐに忘れてしまう。

◆ ご本人の気持ちに寄り添う姿勢

介護される本人は、顔には出さないが、実は「誰かに寄り添ってほしい」「かまってほしい」という気持ちが根底にある。

自信の喪失や人と比べて落ち込むこともあり、「昔はできたのに今はできない」ことに傷つくこともある。

◆ 工夫と成功体験の共有

- ・一緒に学習や作業をすることで、少しずつ本人のやる気や自信が戻ることもある。
- ・「ご褒美（キャンディーなど）」を取り入れることで、本人のモチベーションが上がるケースもある。
- ・「何ページまでやったら終わり」という目標設定や、できた時に褒める工夫が効果的。
- ・井福来（デイサービス）の日程を前もって伝えると、緊張や混乱が強くなるため、当日朝に伝えるなどの工夫をしている。

◆ 介護者自身の負担感とそこでの希望

- ・常に気を張っている状態で、「ゆっくりしている感じではない」と語る介護者が多い。
 - ・睡眠不足や旅行時の薬管理など、生活全体にわたって気が抜けない。
- それでも、「残された余生を大切にしたい」「少しでも本人が楽しめる時間をつくりたい」という前向きな姿勢がうかがえる。

◆ デイサービスへの信頼と感謝

- ・デイサービスの質や職員の対応について、高く評価する声が多い。
- ・「井福来」の職員のレベルの高さや温かさに感謝の声が寄せられ、「ここに入れてよかった」と感じている。

◆ 今後への展望と心構え

- ・自分たちの親を介護した経験を思い出しながら、今度は自分が支える立場として向き合っている。
- ・「昔の自分たちがそうしてもらったように、今度は自分が寄り添っていきたい」という思いが、家族介護の動機になっている。

・介護者へのフォローも必要だと考えている。認知症の方に対して求められている受容や感謝などは、介護者も欲していることであり、そういう機会が増えることも望んでいる。

錦田包括 U 様

介護者どうしが、互いの話をするのはとても貴重で、これからの介護にも必ず役にたつと思います。同じような思いを持っている方の言葉は自分の中に入って来るし、自分の意見も相手に届いている感じが強いです。介護者がいるからこそ利用者本人の生活が成立しているので、介護者さんも体調や心のケアを行って行ってください。

センター長 W1

本日は、お忙しいところありがとうございました。介護者様の貴重な意見を聞いて本当によかったです。また半年後に機会がありますので、気分転換でもかまいませんので、ご出席いただき話を聞かせてください。